

地域活動のご紹介 地域から信頼され、必要とされる士業であり続けるために…

2001年の開業以来、多大なお力添えをいただいている地域への恩返し、そして地域がますます元気で豊かになってほしいという思いから地域活動を行っています。また、多岐にわたる司法書士業務において一事務所だけではお客様に対して質の高いサービスを提供できないので、行政や福祉、地域企業とよりよいネットワークづくりに力をいれています。活動の一部をご紹介します。

明治学院大学学生の「インタビュー」お受入れ

清水は「戸塚宿ほのぼの商和会」副会長として、地域の皆さまと共に「にぎわいあふれる街づくり」に取り組んでいます。その一つが区内の商店街が連携した明治学院大学の学生への支援「戸塚おせっかいプロジェクト」です。コロナ禍によるオンライン授業で孤独を感じている学生さんたちの居場所を地域に作ることを目的としています。



6月7日に同大学国際学部国際学科1年生2名が来所され、司法書士の業務・やりがいや魅力、おせっかいプロジェクトに参加したきっかけなどを清水がお話いたしました。

特に伝えたかったのは、手続業務と思われがちな仕事だけれど、昨今では漠然とした悩みや不安を抱えている方が増えており、気持ちや問題の整理から解決策の提案・手続の代行などお客様に永く寄り添いながらかわっていくことが大切となっていることです。複雑化した問題も多く、異業種と連携しながら解決に導く必要があり、常に人と人とのつながりの中で仕事をしていることを意識しています。

学生さんは一言一句逃すまいという勢いで熱心にメモをとられていました。座学だけでは得られない気づきや学びの場となっただけなら悦ばしい限りです。



南戸塚小学校3年生の「探求学習」お受入れ

9月12日、26日に南戸塚小学校3年生7名が来所されました。不動産、保険、美容室、パン屋など地域の事業所を訪問し、働く人について学ぶことが目的でした。司法書士の仕事は専門用語が多くわかりにくいので、説明内容に苦心しました。



小学生2人の娘さんをもつ福井が中心となり、試行錯誤の上、資料を作りました。娘さんからの「こんなんじゃわからない!」と手厳しいダメ出しを受け修正を重ね、小学生にもわかる身近な話題にひきつけて考えてもらったり、クイズ形式で出題するなど難しい法律の話も興味をもってもらえるように工夫しました。

初回のふれあいを通して、理解度や興味関心など様子がつかめたので、2回目はより楽しみながら、法律や司法書士を身近に感じてもらえるように人生ゲームを作りました。ゲームのコマには司法書士がかかわる相続、不動産、会社設立などの他、身近な法律クイズの箇所を設け、2022年4月から施行された成人年齢引き下げで変わったことや消費税の話などを織り交ぜました。

白熱した展開に一喜一憂する子どもたちの声が響きわたり
所内に活気がみなぎりました。 「司法書士になりたい!」と



言い出す子もいて
少しは身近な存在
に感じていただけ
たかと思えます。

